

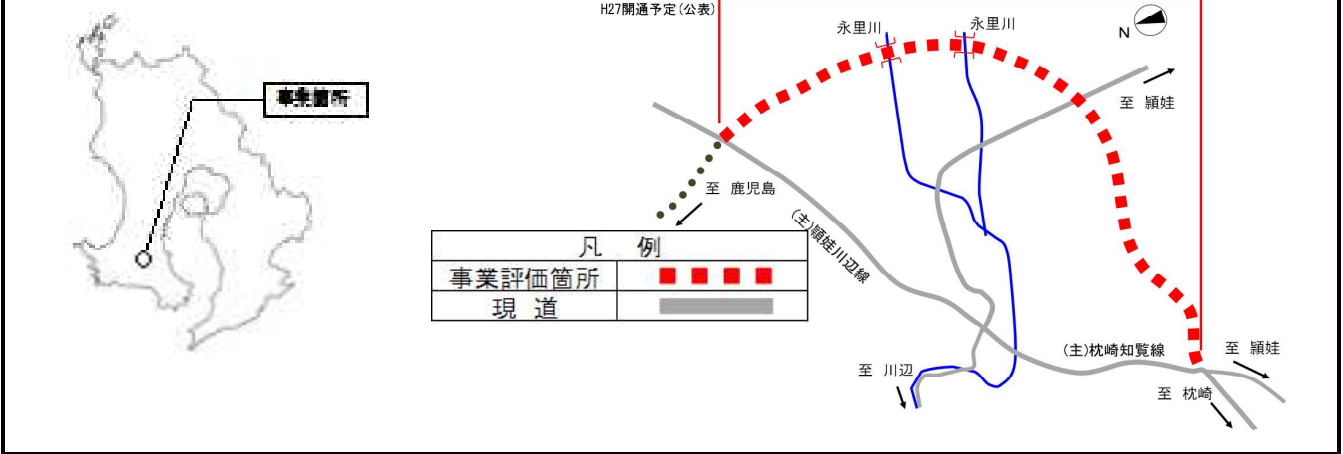
## 再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全課

担当課長名：池田 豊人

事業名	地域高規格道路 <small>なんさつじゆうかんどう</small> 南薩縦貫道 主要地方道 <small>まくらざきちらん</small> 枕崎知覧線 <small>しもいで</small> 霜出道路	事業区分	地方道	事業主体	鹿児島県
起終点	自：鹿児島県南九州市知覧町 <small>みなみきゆうしゅうしちらんちよう</small> 至：鹿児島県南九州市知覧町 <small>みなみきゆうしゅうしちらんちよう</small>			延長	3.4 km
<b>事業概要</b> 主要地方道枕崎知覧線 霜出道路は、鹿児島市から南九州市を經由し、枕崎市に至る延長約40kmの地域高規格道路「南薩縦貫道」を構成する一部であり、南薩地域の骨格となる重要な道路である。 当該箇所を整備することにより、半島地域の広域ネットワークを形成を通して、九州縦貫自動車道や鹿児島空港を結ぶことによる交通拠点の連結を図り、地域の活性化や産業支援へ寄与するものである。					
平成24年度事業化	都市計画決定無し	平成25年度用地着手	平成25年度工事着手		
全体事業費	45億円	事業進捗率	18%	供用済延長	0 km
計画交通量	8,300～10,200台/日				
費用対効果分析結果	B/C <small>(事業全体)</small> 1.3 <small>(残事業)</small> 2.8	総費用： <small>(残事業)/ (事業全体)</small> 21 / 45 億円 事業費：20/44 億円 維持管理費：1.3/1.3 億円	総便益： <small>(残事業)/ (事業全体)</small> 60 / 60 億円 走行時間短縮便益：37/37 億円 走行経費減少便益：12/12 億円 交通事故減少便益：11/11 億円	基準年： 平成26年	
<b>感度分析の結果</b> <small>(事業全体)</small> 交通量：B/C=1.2～1.4（交通量±10%） <small>(残事業)</small> 交通量：B/C=2.6～3.0（交通量±10%） <small>(事業全体)</small> 事業費：B/C=1.2～1.5（事業費±10%） <small>(残事業)</small> 事業費：B/C=2.5～3.1（事業費±10%） <small>(事業全体)</small> 事業期間：B/C=1.3～1.4（事業期間±20%） <small>(残事業)</small> 事業期間：B/C=2.8～2.8（事業期間±20%）					
<b>事業の効果等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑なモビリティの確保（空港へのアクセス向上が見込まれる）</li> <li>・物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性が向上）</li> <li>・安全な生活環境の確保（交通量の減少により、死傷事故率が高い現道の安全性の向上が期待できる）</li> <li>・災害への備え（第二次緊急輸送道路としての位置づけ）</li> </ul>					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・枕崎市をはじめとする沿線自治体等で構成される南薩縦貫道建設期成会同盟会（会長：枕崎市市長）等より、南薩縦貫道の早期整備が要望されている。					
<b>事業評価監視委員会の意見</b> ・事業を継続することが妥当である。 ・鹿児島県知事の方針：委員会の意見を受け、継続事業とした。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・南薩縦貫道の南九州神殿IC～南九州川辺ICが平成24年8月8日に開通した。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・平成24年度に事業化、事業進捗率18%、用地進捗率48%（平成26年3月末時点） ・残る工事を推進し、平成27年度開通予定。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き早期供用に向け工事等の事業進捗を図っていく。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・コンクリート二次製品の積極的な活用や再生骨材の採用等によりコスト縮減を図っている。 ・軟弱地盤上の構造物の基礎対策について、工法の比較検討を行いコスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続				
<b>対応方針決定の理由</b> ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。